



会報

2018 ▶ 2019
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

親睦と奉仕、
閃きと実行

会長／大嶋 孝広 幹事／堀 光輝

インスピレーションになろう

プログラム

(第15号・第16号) 合併号

- 本日
地区大会 (札幌市)
- 次週予定
- 振替休会 -

No. 2801
第15回 10月21日

出席報告

前
例
会

会員総数	33名
出免会員	2名
出免出席	2名
基準会員出席	19名
出席率	63.64%

前
々
会

第12回 10月3日

欠席会員	14名
内メイクアップ	5名
修正出席率	72.73%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 国際ロータリー第2510地区小山ガバナーより「黄金の輪ロータリー物語」という本をいただきました。お読みにになりたい方は、幹事まで申し付け下さい。

ゲスト 米山記念奨学生 高 芸輝様
ビジター 入井 浩樹様 (滝川RC)

📁 幹事報告

- 芦別RCより9月会報を受領しました。
- 皆様のテーブルに米山記念奨学事業の豆辞典が届き、配付いたしました。
- 地区より北海道胆振東部地震への義援金の要請が来ております。一人1000円以上寄付をお願いします。BOXを回しますので、よろしくをお願いします。

👤 委員会報告

社会奉仕委員会 燕委員長
 9月29日開催の地区補助金事業である職業体験のパンフレットを受付に置いておきました。皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

🕒 3分間情報

「職業奉仕について」

佐原市 第349区地区大会R.I会長代理
 前原勝樹パストガバナー講演抜粋
 会員研修委員会 森(幹)副委員長

第14回 10月17日(水) 天候/晴

凡そ職業奉仕は行事として企画されるものではなく、個人の日常の職場に於ける生活の中にあります。ハーバード・テーラーの四つのテストはその基準を示すものですが、私は一層具体的な次の「職業奉仕四つの反省」を提唱いたします。

- (1) 顧客に対して
最上の品質・最高のサービスを提供しているか。
常に正直と親切を旨としているか。
- (2) 従業員に対して
彼等の長所を十分に認め、かつ買っているか。
安全で快適な職場を確保しているか。
苦情に対して公正な態度で対処しているか。
自ら誠実・善意の手本を示しているか。
- (3) 競争者に対して
公正な態度で接しているか。
行動によって誠意を感銘させているか。
彼等とともに事業水準の高揚につとめているか。
- (4) 協力者に対して
公平でしかも友情に充ちた関係を保っているか。
いつも支払いをよくしているか。

これは、ザ・ロータリアン誌から意識したものであります。このような具体的反省を常に行ない、これに出来るだけ近づけようとする努力こそロータリーの職業奉仕であると信ずるものであります。

職業奉仕は、特別あるいは特定の奉仕活動ではない。その種の活動はロータリーの他部門を通じて行われるべきものである。職業奉仕とは、活動だけでなく思想をふくめた、奉仕の生活である。だが職業奉仕の実践は時として愉快なものではないかも知れない。時間そして金銭的犠牲を余儀なくされることもあるはずだ。なぜなら各ロータリアンは、ただひとりでの職業分類を代表しているからである。職業奉仕は孤独

なそして個人的な課題ではある。だがこの道をゆく人は何かよいことをしたときに、思いがけずに生まれるあの幸福を発見することだろう。よいと信じたことは、実行する価値があるのである。



ニクニクBOX.....

- 母の葬儀に際しましてはご丁寧なるご厚志を賜り厚くお礼を申し上げます。皆様の友情に深く感謝申し上げます。大変ありがとうございました。 山本会員
- 商工会議所のゴルフで1位になりました。写真いただきました。 大嶋会長
- コウさんようこそ留萌へ。写真戴きました。 堀幹事
- 写真戴きました。 辻本会員
- お仕事体験写真戴きました。大変良い事業だったと思います。 松岡会員
- 信金イーグル会最終ゴルフコンペでバッチリはまり優勝しました。 鈴木会員
- 思い出をありがとう。 高橋会員
- 地区補助金事業の写真戴きました。西谷会員
- 旭川ハーフマラソン完走出来ました。 武田会員

前 回	376,837円
今 回	32,000円
累 計	408,837円



プログラム.....

「米山記念奨学生卓話」

米山記念奨学生 高 芸 焯 様

私は北海道大学の高芸焯と申します。先日行われた研修旅行の際に、留萌ロータリークラブの方々には大変お世話になって、感謝しております。本日再び留萌に参りまして、皆様の前で卓話をさせていただける事をうれしく思います。

本日の卓話のテーマは「ロータリーとの出会い」です。自己紹介を含めて、ロータリーと出会う前とロータリーとの出会いについてお話を

させていただきます。

まずは自己紹介です。私は1993年中国遼寧省鞍山市で生まれました。25歳になります。鞍山市は大連と瀋陽の近くにあり、北朝鮮にも近い所にあります。鞍山市は世界的には有名ではありませんが中国では鋼都と呼ばれ、とても重要な工業の街で、翡翠の名産地です。

私は中国の日本語学院で日本語を学び、日本語を学ぶ中で日本の文化や自然の魅力に強く引かれて来ました。大学を卒業後、国際交流や国際協力を深めると共に、環境問題の解決法を学びたいと考え、2016年北海道大学大学院、環境科学院に留学する事を決めました。そして2018年滝川ロータリークラブ創立60周年にて初めての奨学生として選ばれました。大変光栄に存じます。

私が奨学生になる前の事を少しお話いたします。私は川・森、そして生き物、いわゆる河川とその周辺の生態系のバランスについて研究をしていました。しかし河川とその周辺の生態系のバランスは、気候変動による洪水など災害の増加によってバランスが崩れる恐れがあるとされています。ですから自然環境や人間活動を保つために、私は現在、洪水が河川とその周辺の生態系、特に昆虫に与える影響について研究をしています。簡単に言えば、今私がしている研究は、人間活動や自然災害の組み合わせによって、生態系のバランスへの影響と保全策について研究をしています。学校の勉強以外にも研究データの採取のために野外調査も忙しかったです。家に経済負担を掛けないようにアルバイトも1年半行いました。留学生活は非常に充実したものでしたが、経済的な不安が大きく、研究の時間も取られてしまいました。その後、ロータリーの米山記念奨学生に選ばれて大変感謝しております。それにより、経済的不安が取り除かれて、研究に集中的に取り組む事が出来ました。趣味やロータリアンとの文化交流も積極的に行う事ができ、日々の生活も充実したものになりました。日本社会の文化についても学ぶことが出来ました。

学校生活では日本の方々と色々な国の留学生



との交流があり、日本文化を通じてそれを楽しんでいます。研究のかたわら、研究から得た知識や技術を普段の生活にも積極的に応用出来て、日本や海外の小中高生と連携しながら、若い人達に自然環境と人間生活の関係や、環境保全の大切さを伝えています。奨学生になってからは様々な国からの留学生に会い、国際交流の貴重な機会をいただきました。

例えば、2018年度米山記念奨学生宿泊研修旅行の経験です。今回の研修旅行によって、北海道の歴史について大変勉強になりました。6000年前の縄文時代の器が目の前にあって深く感動しました。伝統的な服や農作業道具の変化による農業の発展も見えてきて、アイヌ文化も見えてきました。また、美味しい日本酒も試しました。国稀酒造の見学をしましたが、それまでは日本酒はみな同じ味をしているとの失礼な考えを持っていましたが、今回の研修旅行ですっかり考え方が変わってしまいました。日本酒は風土、文化、伝統技術を反映して作られる、地方色豊かなお酒とわかるようになりました。日本酒は日本人が伝統作業を守りつつ発展させ、文化経済の一つの柱になっていると思います。また、漢字で書いた中国の本や中国から渡ってきた礼服などを見ると、日本と中国が文化・貿易などの分野で積極的に交流し、お互いに学ぶ歴史の目撃者だと思います。私は今回の研修旅行で日本文化への理解をより深める事が出来ました。また、日中友好がより良い形で進むことを望むようになりました。

平和と国際理解を目指す、ロータリー米山記念奨学会が127の地域から、様々な分野の20396

第14回 10月17日(水) 天候/晴

人の奨学生の支援を支援しました。経済的なご支援や文化交流活動を通して、その奨学生の一員として、自分がこの世界に何が出来るか、一層深く考えるようになりました。その考えの中にロータリアンの方々や奨学生との交流、難病と闘う子供たちを支援するそらぶちキッズキャンプや、滝川神社の例大祭などを見学させていただきました。その為、日本の文化歴史経済、自然環境などあらゆる面のすばらしさを強く感じました。ロータリー米山記念奨学会のお蔭で私の人生は大きく変わりました。今の私は、何時か世界を変えるような仕事をやりたいと思えるようになりました。

最近卓話の準備で忙しいのですが、アップルの創業者スティーブ・ジョブズ氏が話した、2015年のスタンフォード大学の卒業式での素晴らしいスピーチを何回も聞きました。その中で印象的な話が「点と点を繋ぐ」というものです。私たち米山記念奨学生20396人の人たちとの研究や文化交流の中で得られた言語力国際交流理解力、専門知識を生かして、将来日本と世界とを結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍したいと思っておりますが、卒業後に母国へ帰ったり、日本に残ったり、他の国へ行ったりと、バラバラになってしまいます。しかしロータリーは顔の見える交流をしていますし、奉仕の精神を私たちに教えて下さいました。それにより私たちがどこの国にしようとも、私たちはしっかり繋がっているのです。世界平和の架け橋よりも大

きな、世界のかけ架け網となっていく覚悟です。例えば私たちが小さな点であったとしても、皆が協力して世界平和や発展の両立を遂げると信じています。ロータリーは私に経済的な支援だけでなく、私の人生を変えるまでの非常に貴重な経験を与えてくれました。大変感謝しております。この感謝の気持ちを永遠に忘れず、皆様のご支援に報いるために努力を重ねて参りたいと思います。

本日、留萌ロータリークラブの卓話にお呼びいただき、また研修旅行でのお世話をいただいた事を改めてお礼申し上げます。最後に皆様の健康とご活躍を祈り、卓話を終えさせていただきます。ありがとうございました。



プログラム

(第15号・第16号)合併号

●本日

「地区大会報告」

●次週予定

来賓卓話「会員増強について」

滝川RC 直前会長 山口 清悦様

会員誕生日

中 出 敏 彦

燕 美 雪

配偶者誕生日

大 嶋 裕 子

No. 2802

第16回 10月31日

出席報告

前
例
会

会員総数……………33名
出免会員……………2名
出免出席……………1名
基準会員出席…………0名
出席率……………100%

前
々
会

第13回 10月10日

欠席会員……………11名
内メイクアップ…………0名
修正出席率…………69.70%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

= 国際ロータリー第2510地区地区大会 =

2018年10月21日(日) 札幌市民交流プラザ

8:30	受付開始	大会登録委員長 國立 金助
9:00	オープニング	大会信任状委員会報告
9:05	開会の言葉 実行委員長 勝木 紀昭	大会信任状委員長 武部 實
	点鐘 ガバナー 小山 司	11:30 大会選挙管理委員会報告
	国歌斉唱	大会選挙管理委員長 羽部 大仁
	ロータリーソング「我らの生業」	諸事お知らせ
	物故者追悼	大会SAA 中山 茂
	歓迎の言葉	~~~~~ 昼 食 ~~~~~
	ホストクラブ会長 古野 重幸	13:15 記念講演
	R I 会長代理、ご来賓の紹介	「あの素晴らしい愛について」
	ガバナー挨拶 小山 司	講師 北山おさむ様
9:40	来賓祝辞 北海道知事 高橋はるみ様	14:45 謝辞 ガバナー 小山 司
	札幌市長 秋元 克広様	14:50 表彰 R I 会長賞、ロータリー財団、
9:25	特別参加者紹介	米山記念奨学会、永年出席100%
10:45	R I 現況報告	ガバナー特別表彰
	R I 会長代理 柳生 好春様	15:10 直前ガバナー記念品贈呈
11:05	地区現況報告 ガバナー 小山 司	ガバナー 小山 司
	大会決議案上程	ガバナーエレクト紹介
	大会決議委員長 嵯峨 義輝	ガバナー 小山 司
	大会決議採択 ガバナー 小山 司	ガバナーエレクト挨拶
	前年度決算報告	ガバナーエレクト 福田 武男
	前年度地区財務委員長 成澤 茂	ガバナーノミニ紹介
	前年度決算監査報告	ガバナー 小山 司
	パストガバナー 武部 實	ガバナーノミニ挨拶
	大会登録委員会報告	ガバナーノミニ 福井 敬悟

第15回 10月21日(日) 天候/晴

次期ホストクラブ紹介

ガバナー 小山 司

次期ホストクラブご挨拶

千歳RC会長 今野 良紀

R I 会長代理ご夫妻へ記念品贈呈

ガバナー 小山 司

閉会の言葉

大会副実行委員長 相茶 俊介

15:45 諸事お知らせ

大会SAA 中山 茂

= 記念懇親会 =

札幌グランドホテル2階「グランドホール」

16:45 会場

16:46 オープニング

開会

開会の言葉 ガバナー 小山 司

17:00 乾杯

ガバナーエレクト 福田 武男

17:01 祝宴

ゴルフ成績発表/カップ授与

ゴルフ委員長 渡辺 一郎

17:30 ステージ トワエモア

18:00 ステージ終了

18:35 閉会の挨拶

ガバナーノミニー 福井 敬悟

18:40 ロータリーソング「手に手つないで」

18:50 閉会

